

カデット大会に関する注意事項

1 競技上の注意

(1) 本大会は、現行の日本卓球ルール、宮城県中体連卓球競技規則及び競技上の注意を適用し実施します。なお、タイムアウト制は採用しません。

(2) 今年度の日本卓球協会のゼッケンを着用して下さい。

(3) アドバイザーについて

ベスト8決定後の試合より、アドバイザーとして1名のベンチ入りを認めます。それ以前以前の段階では大会運営の都合上、アドバイザーは認めておりません。御理解の上、御協力願います。

※1 アドバイザーは登録不要です。

※2 試合途中でのベンチ入りや、ベンチへの出入りを容認します。

※3 試合途中でのアドバイザーの交替は認めません。

(4) 抗議について

選手本人にのみ認められています。

(5) 最初にサービス・エンドのジャンケン、ラケット交換を行い、練習を3本して、試合を開始してください。

(6) ラバー貼り替えが必要な時は、進行席まで来てください。

(7) 審判について

① 初戦のみ相互審判、それ以降は敗者審判となりますのでよろしくお願いします。

② 可能な限り2人で審判を行うようにお願いします。特に、シングルスの際に気をつけてください。

③ カウンターが進行席に見えるように審判を行ってください。

(8) カウンターの使い方について

どちらかが10点をとると、カウンターを90度傾けてそのままにするという審判法が見られます。こうすると、カウンターが見えなくなる人が出てくるばかりでなく、カウンターが障害物になることもありえますので、このようなカウンター操作は行わないで下さい。90度傾けても構いませんので、ラリーが始まる前には元の位置に戻してください。

2 進行上の注意

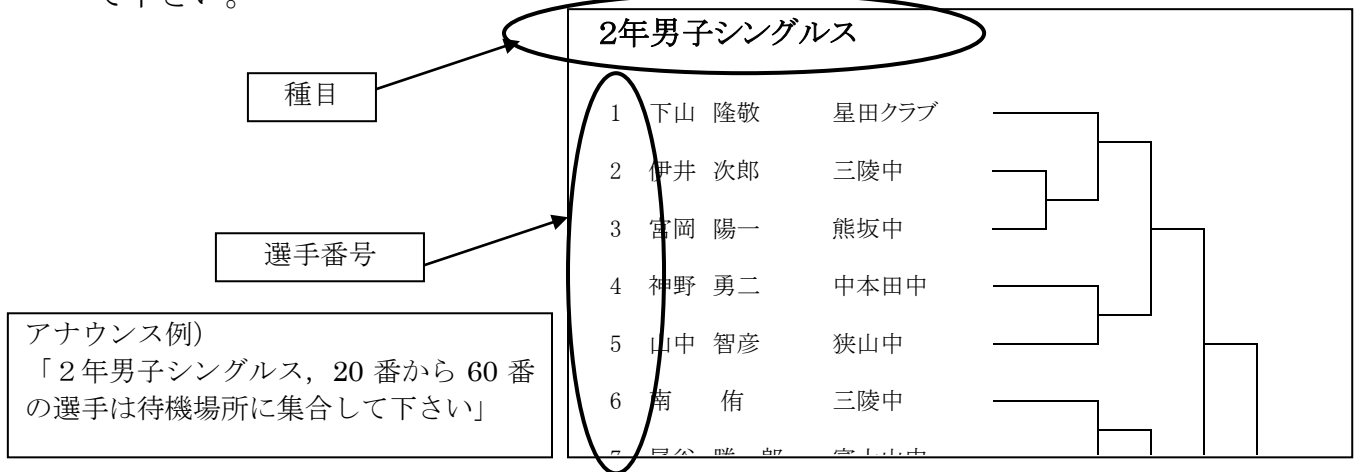
- (1) 本大会は開会式直後以外はタイムテーブルを使用しません。待機場所であらかじめ選手の確認を行い、試合コート割り当てます。詳しくは次のページの「3. 競技の進行について」を御覧下さい。
- (2) 待機所に集合するときには、すぐに試合を始められる姿(ユニフォーム, ゼッケン着用)で来てください。
- (3) 試合終了後、負けた選手は、すぐに結果記録表を進行席に提出し、次の試合の審判を務めてください。
- (4) 選手が試合に集中できるよう、フロアでの試合観戦・あいているコートでの練習は行わないでください。
- (5) 2Fギャラリーからの撮影は、写真、動画ともに一切禁止しております。1Fフロアで撮影する場合は、必ず対戦相手から許可をとって行うようにしてください。また、撮影した動画については、WEB掲載はしないでください。
- (6) 会場で練習をするときに、「5本交代」などとルールを作り、5本ミスをするまで交代しない。なおかつ、その間ボール拾いに行く間他の選手を練習させないというトラブルが過去にありました。また、「1本交代をお願いします。」と話す、「混んでるので違うコートに行ってください。」と断る選手も最近見られるそうです。朝のメインアリーナ、サブアリーナにおける練習については、特にルールというものはありませんが、お互いが譲り合って、マナー良く使用するようによろしくお願いいたします。

3 競技の進行について

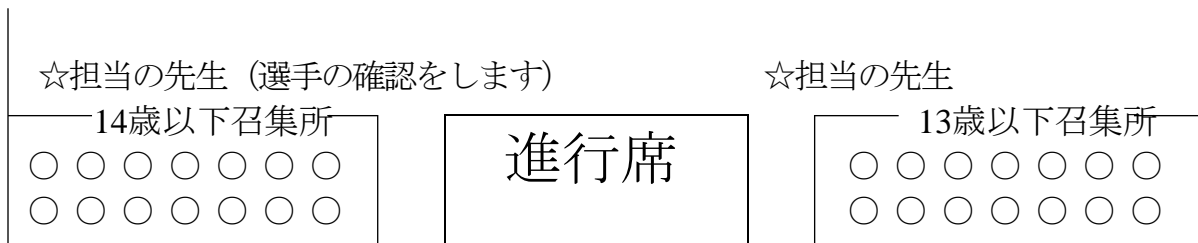
以下のことにつきまして、各校において事前にご指導をいただき、当日の進行がスムーズになるようご協力下さい。

(1) タイムテーブルは開会式直後の試合しかありません。

※ それぞれの試合をタイムテーブル化するのではなく、試合の近い選手を待機場所に集めておき、待機場所から順次試合を進めていく方式を採用します。召集のアナウンスは「種目」と「選手番号」で呼び出しますので、選手はそれらを暗記して下さい。



(2) 競技場フロアの一角に選手待機場所をもうけます。次の試合に出場する選手は待機場所で担当の先生のチェックを受けた上で、試合コートにはいることとなります。



待機場所で担当の先生から試合コートを指示されるので、静かに待っていること。

(3) 最初の試合のみ相互審判でおこない、その後は敗者審判となります。試合に負けた選手は自分の対戦カードを進行席に提出し、次の試合のカードを受け取って待機場所から次の試合を行う選手と一緒にコートへ行くこととなります。

以上を選手の動きとしてまとめると、次のページの通りになります。

【選手の動き】

- ① 観客席でアナウンスを聞く。(○ページから○ページの1回戦の選手)
↓
- ② 待機所に行き、競技役員の指示に従い、番号順にすわっている。
↓
- ③ 待機所の担当の先生から、試合をするように促される。
(○○中の○○君と○○中の○○君は試合ですよ、この審判の人について
いってください。)
↓
- ④ 審判と、相手の選手と一緒に、試合コートに行く。
↓
- ⑤ ジャンケンをして、練習を3本行い、試合開始。
↓
- ⑥ 試合の結果が出る。(勝ったら①へ) 負けたら、記録用紙を持ち、進行席へ。
↓
- ⑦ 記録用紙をはさむボードを持って、待機所に行き、担当の先生に渡す。
↓
- ⑧ 待機所の担当の先生から、試合の審判の指示を受ける。
(○○中の○○君と○○中の○○君の試合を審判します。○○コートに
いってください。)
↓
- ⑨ 試合をする選手と一緒に、試合コート(原則自分が試合をしたコート)に行く。
↓
- ⑩ ジャンケンをさせて、練習を3本行わせ、試合開始。(記録を忘れない)
↓
- ⑪ 試合の結果が出る。負けた選手に記録用紙を渡し、観客席へ。

複雑な説明でしたが、

「自分の種目と選手番号を覚えて、放送があったら待機所に集合する」
ということができれば、試合ができます。

4 会場に関して

- (1) 観客席やロビーなどをご利用下さい。役員が巡回しますので、指示にはしたがってくださいますようお願いいたします。熱中症対策のため、こまめに水分補給をしてください。床にこぼさないように十分に気を付けてお飲みください。
- (2) ゴミはすべて持ち帰りをお願いします。
- (3) 座席指定を行いませんので、お互いにゆずり合ってご使用下さい。
※通路より下の座席は、応援専用となります。常駐しないようにしてください。
- (4) 観客席の通路での応援はご遠慮ください。座席に座って応援してください。
- (5) 万が一破損があった場合は、速やかに進行席まで連絡をお願いします。

5 全国大会出場枠・表彰

- (1) 全国大会の出場枠は以下の表の通りです。

種目	全国枠
1年男子シングルス	4人
2年男子シングルス	3人
1年女子シングルス	4人
2年女子シングルス	3人
男子ダブルス	3組
女子ダブルス	3組

- (2) 各種目ベスト8(5位)まで表彰します。
 - ・ 5位表彰 …… 5位の4人が敗者審判を終えた段階で表彰します。
 - ・ 1～3位表彰 …… 決勝戦後に表彰します。